



川口市立在家中中学校 川口市大字安行領在家272番地
048(295)4102 FAX 048(295)5661
URL <https://zaike-j-kawaguchi-saitama.edumap.jp/>



・心身ともにたくましい生徒
・自ら進んで学ぶ生徒
・豊かな情操を培う生徒

振るう年 昇る年

校長 鈴木 玲

明けましておめでとうございます。旧年中は本校の教育活動に多大なるご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、本年も在家中中学校を宜しくお願い致します。

さて、今年は辰年です。「辰」の字は「振るう」を意味するとも言われており、世の中が動き、大きく成長する年なのだそうです。確かに現在、学校教育は変革期の中にあります。コロナ禍を経て様々なものについて見直す機会が得られました。コロナウイルスの流行が発端でなくても、時代の流れとともに変えていかなくてはならないことが多くなっています。本校が令和6年度に変更・改善を行っていく必要がある主なものとして次の3点を挙げました。そして、そのための準備は当然この3学期に整えなければなりません。

- カリキュラム・マネジメントの充実
- 日課表の変更や授業時数の見直し
- 学校行事の精選

この他にも中長期的な課題として、地域移行を含む部活動の在り方についても考え、進めていく必要があります。

カリキュラム・マネジメントとは学校教育に関わる様々な取組を組織的かつ計画的に実施し、教育活動の質の向上につなげていくことです。まず校内で取り組むことは「学びの共同体」による授業改善です。「授業」とはその文字から察するに、もともとは「業」つまり「生きるための技術や知識」を「授ける」といった考え方だったのかもしれませんが。時が進むと、教室にいる全生徒に向けて一斉に教えるという教師主導の授業から生徒主体の学習に移り、今ではより一層その色は濃くなっています。主体が生徒であっても「授業を受ける『受業』」ではなく、生徒自らが「将来に生かせる技術や知識を求める『需業』」であるべきだと考えます。「需要」「必需品」などに用いられる『需』には「求める」という意味があります。生徒が求める学びを共有する場が「学びの共同体」にはあると思っています。

また、カリキュラム・マネジメントは、地域や家庭と連携し、よりよい学校教育を目指すものでもあります。日課表の変更や授業時数の見直しは教員の授業改善のための時間確保などの他に、地域や家庭で生徒を育成する場や時間を増やすためでもあります。さらに、これまで様々な行事や取組の準備等が同時進行で行われることも多くありました。そのような生徒の負担を軽減するためにも学校行事の精選や開催方法の工夫について検討する必要があると考えています。

今年は元日に北陸地方で大きな地震があり、甚大な被害が発生しました。地震の「震」の文字にも「辰」が含まれています。川口市から離れた土地ではあるものの、地震発生時には東日本大震災の記憶もよみがえり、非常にショックを受けました。しかし、同時に災いはいつ何時 私たちの生活に降りかかるかわからないと再認識させられた辰年のスタートでした。本校としましても改めて防災の意識を高くもち、安全教育をさらに充実させていきたいと思えます。

保護者・地域のみなさまとともに、2024年を「龍の如く昇る」より良い年にしたいと願っています。本年も益々のご指導とご協力を宜しくお願い致します。

